学部生対象

大学院進学ガイダンス

理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部
教務委員会
（2026年度）

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

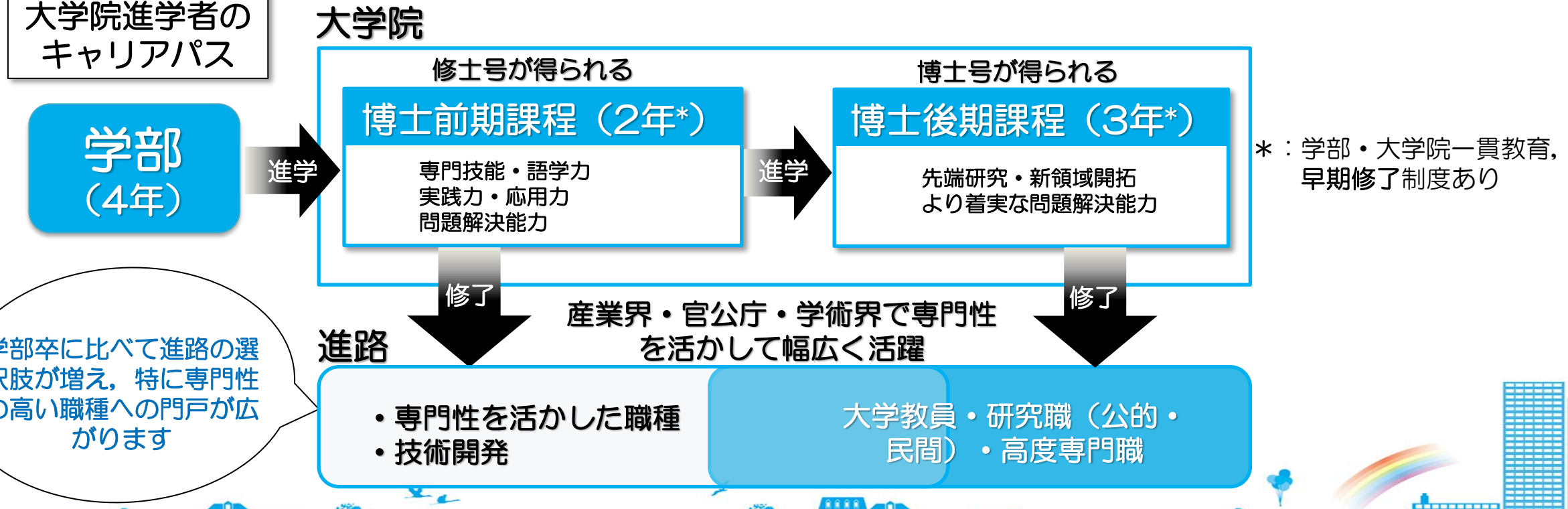
大学院とは

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

大学で学んだ知識を基に，さらに発展的・専門的な学習や研究を行い
研究者や技術者などの専門家・高度専門職業人を養成する機関

本学では大学院進学を推奨しています

大学院進学者の
キャリアパス



大学院（修士）で得られるもの

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

- **専門性の深化**：
  自分の強みを明確に，「詳しい」から「専門家へ」
  替えのきかない人材になるための深い知識と専門性を身につけられる
- **スキルの獲得**：
  実務で使えるスキル（解析・分析，論理的思考，プレゼン能力）を身につけられる
- **進路の選択肢が増える・待遇が変わる**
  学部卒対象の就職先に加えて，修士採用枠（特に大企業），技術開発職などの選択肢が増える．初任給・昇進スピードも修士＞学部

修士は、これからの時代の「キャリアを選ぶためのパスポート」
これからは「用意されたキャリア」でなく**「自分で設計するキャリアの時代」**．
身につけた知識は人生を豊かにする力になり，人生の選択肢を広げられる

大学院（博士）で得られる力

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

「知識を使う人」から「知識を生み出す人」へ

- 未解決問題に取り組む力
- 研究を主導する力
- 新しい知識・技術を生み出す力
- 自分で問いを立て、答えをつくる力

■博士でさらに広がるキャリア

修士では難しいアカデミア（大学・研究機関）という選択肢が広がる

■グローバルに活躍するための博士という選択肢

先端技術分野では博士人材が中核．世界的大企業では博士号が前提となる場合もある．日本でも研究・開発分野でニーズ上昇傾向．

東京都市大学大学院
総合理工学研究科

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

教育の理念「**技術者・研究者として社会の要請に応える**」

教育目標

社会から求められている国際的に活躍できる技術者・研究者を育てるための教育に取り組み、次のような能力を養うことを教育の目標としています

①理工学におけるリテラシーである情報技術と語学を含めたコミュニケーション能力
②プレゼンテーション能力
③専門知識に裏付けされた課題を解決できる能力

大学院入試日程（4月入学の場合※）

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

※9月入学の入試も実施しています

A日程入試（推薦入試）：

成績上位1/2以内の者が出願資格有*　面接のみ（5月）

B日程入試（一般入試）：筆記+面接試験（8月末~9月）**

C日程入試（一般入試）：筆記+面接試験（2月中旬）**

授業料減免・各種奨学金有，学内進学者は入学金免除

詳細日程は本学ウェブサイト，ポータルサイト等で確認してください

＊Ａ日程の有資格者でない場合でも，３年学年末のＣ日程入試と同時実施の『推薦試験（Ａ日程）出願資格取得のための認定試験』に合格すると，Ａ日程出願資格が得られます．
＊＊「外国語科目」の受験免除のための「科目認定試験」（6月実施）も受験可能

学部・大学院一貫教育（学修要覧参照）

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

プログラム概要：本プログラムへの参加が認められた学生のみ

【1】大学院授業科目の先行履修

各専攻が指定する大学院授業科目を先行して履修する事ができる。

手続き方法は教学課HP,ポータルサイトで確認すること.

【2】卒業研究の早期着手・修了

在籍学科が認めた場合：卒業研究を３年後期から開始できる。

さらに

卒業研究が順調に遂行され，学科が卒業研究として十分な内容であると判断した場合：４年前期末で卒業研究を終了し，大学院博士前期課程の研究へと進む事ができる。

【3】大学院博士前期課程在学中の学外研修

卒業研究を４年前期末で終了または４年終了時に大学院授業科目を１５単位修得した学生は，余裕を持った大学院生活を送ることが出来る．より充実した研究活動，国内・国外のインターンシップ，海外留学，他大学や学内他研究室での研究参加などに充てるなどの活用が可能である.

【4】大学院博士前期課程の早期修了

４年前期末で卒業研究も含めた卒業要件を満たし，かつ，大学院Ａ日程入試に合格している学生は，４年後期から大学院博士前期課程の研究に着手でき，大学院で定められた博士前期課程早期修了要件を満たすことで修士の学位を１年間で取得する事が可能である。早い時期に博士後期課程でも成果を上げられれば，大学院博士前期課程，博士後期課程全体を３年間で修了することも可能。

学部・大学院一貫教育（学修要覧参照）

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

プログラム参加資格

以下に示すいずれかの時点において条件を満たしている学生が本プログラムへの参加資格を有する。

- ３年後期開始時点： ３年前期終了時点での成績（ｆ－ＧＰＡ）が学科上位２分の１以内
- ４年前期開始時点： 大学院Ａ日程入試推薦基準を満たしているか，基準となるｆ－ＧＰＡ以上
- ４年後期開始時点： 大学院Ｂ日程入試に合格しているか，基準となるｆ－ＧＰＡ以上

参加方法

以下の時期に本プログラムへの申請を受け付ける。

３年後期開始時点
４年前期開始時点
４年後期開始時点

詳細は当該時期にポータルサイトで示されるので，日々の確認を怠らないこと。

参加に当たっては，各学科の教務委員，
研究室指導教員に問い合わせること

大学院進学のすすめ
総合理工学研究科長　野平博司

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

皆さん，こんにちは．
4月より研究科長を仰せつかった野平です．
大学院進学を少しでも考えている学生の皆さんに，甚だお節介ではありますがいくつか
アドバイスしたいと思います．

まず，ご自身は進学したいけれど，保護者の方の説得が難しい場合があるでしょう．
安心してください．内閣府の調査によると[1)]，学部卒と院卒の生涯賃金の差から計算された**大学院進学の内部収益率は10%**であることが報告されています．**内部収益率とは銀行預金の利息と同じです**．現在，日本のメガバンクの利息が0.2%であることを考えると，**院進学への投資の方が五十倍お得**です．



1)柿澤他，大学院卒の賃金プレミアム―マイクロデータによる年齢ー賃金プロファイルの分析―，内閣府経済社会総合研究所，ESRI

大学院進学のすすめ
総合理工学研究科長　野平博司

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

進学すると，就職が難しくなるのではと心配される方もいるでしょう．

大手企業の院卒採用率をご存じですか？

資料によると[2)]，**大手企業の多くが院卒採用率が50%以上で，理系に限れば多くの企業で70%を超えて**いることが示されています．

さらに院卒が採用に有利という点ばかりでなく，採用されてからのこともよく考えてみましょう．そのような企業では同期がほとんど院卒になります．苦楽を共にする同期ではありますが，一方でライバルでもあります．最初から経験値に大きな差があっても彼らと競い合えますか？

2)東洋経済オンライン，「大学院卒の採用が多い会社」ランキングTOP200，2019/03/20
https://toyokeizai.net/articles/-/271923 2024/3/5閲覧

2019/3/20　東洋経済オンライン
「大学院卒の採用が多い会社」ランキングTOP200
重厚長大のメーカーが理系大学院生多く採用
https://toyokeizai.net/articles/-/271923



院卒採用比率が高い企業（東洋経済オンラインより）
ホンダ，ダイキン，京セラ，日本製鉄（新日鐵住金），野村総合研究所，JFEスチール，オリンパス，東京エレクトロン，住友電気工業，セイコーエプソン，三菱自動車，豊田自動織機，三菱ケミカル，花王，コマツ，富士電機，鹿島，竹中工務店，クボタ，アイシン，東レ，AGC，SUBARU，中部電力，リコー，etc..

大学院進学のすすめ
総合理工学研究科長　野平博司

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

2025年度の学内実績から算出した**有名企業400社就職率**（400社就職人数／就職希望者数）は、東京都市大学は、学部・院全体で、25.9%で、34位（参照①）

理工系の実績は、

学部　　148名 / 582名　　25%
大学院　140名 / 305名　　46%

都市大　2025年卒の実績

学部	学科	就職希望者	400社	
理工学部	機械工	53	18	
	機械システム工	62	20	
	電気電子通信工	87	17	
	医用工	25	6	
	応用化	42	7	
	原子力安全工	17	3	
	自然科	35	2	
建築都市デザイン	建築	62	14	
	都市工	73	26	
情報工	情報科	67	24	
	知能情報工	59	11	
	合計	582	148	25%
総合理工学研究科	機械	70	49	
	電気・化学	81	35	
	共同原子力	19	5	
	自然科学	12	5	
	建築・都市	65	18	
	情報	58	28	
	合計	305	140	46%

参照①　2025.12.09 文　梅田優介（大学通信）
【有名企業400社 実就職ランキング】　有名企業の就職に強い大学の特徴｜大学通信オンライン
https://univ-online.com/article/univpress/35182/

大学院進学のすすめ
総合理工学研究科長　野平博司

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

つらつらと世俗的な理由を述べましたが，本音を言えば“**長い人生でほとんど無い機会だから，唯ひたすらに研究に打ち込んでほしい**”と願うだけです．

研究活動は山登りに似ています．登り始めは辺りは森に覆われて空の青さも澄んだ空気も味わえません．ただ，五合目にもなると，山頂が見えてきますし，遠方には遥かに高い山も見えてきます．たとえ山頂には届かなくても，**とことん突き詰める楽しさや難しさ，世の中には様々な山があることが分かる**でしょう．学び直しが発達していない今の日本では，このような機会は二度と来ないでしょう．

大学院進学を少しでも考えている皆さん，採用が決まってからでは遅すぎます．
これを機会に進学について悩んで頂けたら有難い．
それが私の希望するところです．

